Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90002

受付時間: 平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
(1月1日〜1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンサービスセンター

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J219-010 PRINTED IN MALAYSIA

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot A540/A530 カメラユーザーガイド 応用編

Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A540
PowerShot A530

応用編

写真はPowerShot A540です

カメラユーザーガイド

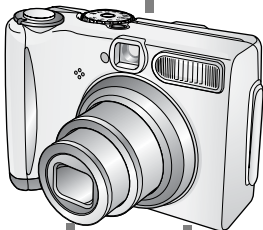
本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DiG!C II

Exif Print

主な特長

撮影

- シーンに合わせて撮影条件を自動設定
- 高感度 ISO 設定で手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- SI センサーでカメラの縦横位置を自動的に判別
- 画像の特定の色を変えて撮影(ワンポイントカラー、スイッチカラー)
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズを装着して撮影（PowerShot A540 のみ）

再生

- 音声つき動画再生
- オートプレイ機能で自動再生

編集

- 静止画に音声メモを記録
- 動画を編集

印刷

- イージーダイレクトボタンで簡単に印刷
- キヤノン製以外のプリンター(PictBridge 対応)でも印刷

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドでは、PowerShot A540 のイラストを使って説明しています。

このガイドの表記について

見出しの下にあるマークは、この操作が行える撮影モードを表しています。

モードスイッチ

連続して撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

＊撮影モードがグレー表示のときは操作できません。

● 各撮影モードで設定できる機能は、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」をご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD＊メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらを、メモリーカードと表記します。

＊SD=Secure Digital（著作権保護システム）の略

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売）、コンパクトパワーアダプター（別売）

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ **注意**

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警告

本機器

●カメラのファインダーを通して太陽や強い光源を直接見ないでください。

視力障害の原因となります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外すか､バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災や感電の原因となります。

電池

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外の電池を使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●キヤノン製の単3形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

●別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。（PowerShot A540 のみ）

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

⚠ 注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、電池を取り出し､保存してください。

カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後､発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

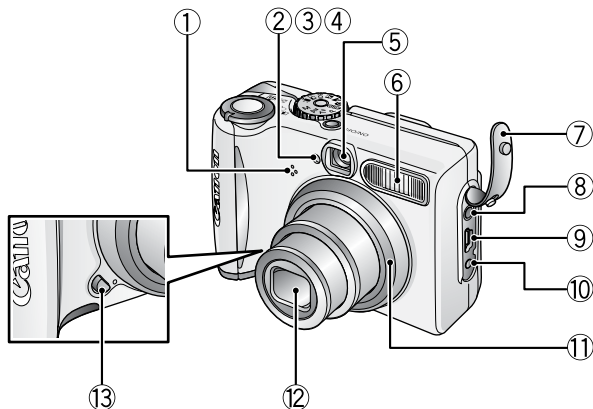
結露が発生したときは

●カメラを使用しないでください。

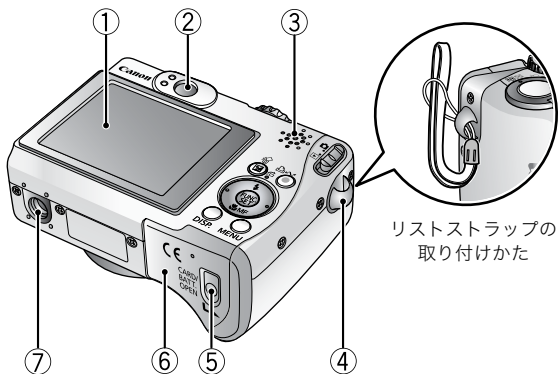
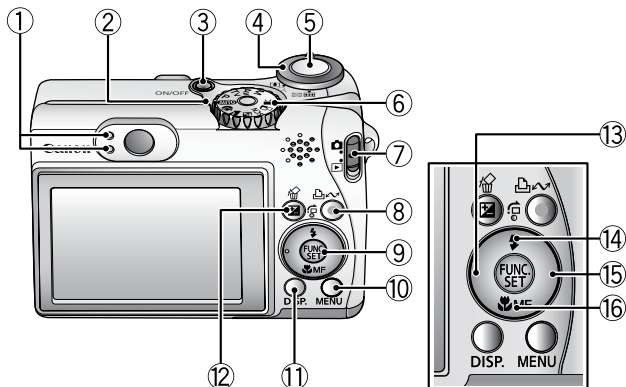
故障の原因になります。

カメラを使う場合は､メモリーカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

ご使用の前に - 各部の名称

前面

①マイク（p. 74）
②AF 補助光投光部（p. 24）
③赤目緩和ランプ（基本編 p. 8）
④セルフタイマーランプ（p. 36）
⑤ファインダー窓（p. 19）
⑥ストロボ（基本編 p. 8）
⑦端子カバー
⑧A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（p. 83）
⑨DIGITAL（デジタル）端子（基本編 p. 19）
⑩DC IN（電源入力）端子（p. 103）
⑪リング＊（p. 105）
⑫レンズ
⑬リング取り外しボタン＊（p. 105）
＊ PowerShot A540 のみ

背面

①液晶モニター（p. 15）
②ファインダー接眼部（p. 19）
③スピーカー
④リストストラップ取り付け部
⑤メモリーカードスロット / バッテリーカバー開放スイッチ（基本編 p. 1）
⑥メモリーカードスロット / バッテリーカバー（基本編 p. 1）
⑦三脚ねじ穴

操作部

①ランプ（p. 20）
②電源ランプ
③電源スイッチ（基本編 p. 4）
④ズームレバー（p. 67、基本編 p. 8）
　撮影時：(広角）/ (望遠）
　再生時： (インデックス）/ (拡大）
⑤シャッターボタン（基本編 p. 4）
⑥撮影モードダイヤル（基本編 p. 4、基本編 p. 5）
⑦モードスイッチ（基本編 p. 4、基本編 p. 10）
⑧ (イージーダイレクト）ボタン（基本編 p. 14）
⑨FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p. 22）
⑩MENU（メニュー）ボタン（p. 23）
⑪DISP.（ディスプレイ）ボタン（p. 15）
⑫ (露出）/ (1 画像消去）ボタン（p. 51、基本編 p. 11）
⑬ ←ボタン
⑭ (ストロボ）/ (ジャンプ）/ ↑ ボタン（p. 69、基本編 p. 8）
⑮ →ボタン
⑯ (マクロ）/ MF (マニュアルフォーカス）/ ↓ ボタン
（p. 49、基本編 p. 9）

液晶モニターの使いかた

1 **DISP. を押す**

- DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

撮影モードのとき（📷）

液晶モニター表示（情報表示なし）
↓
液晶モニター表示（情報表示あり）
↓
液晶モニター非表示

再生モードのとき（▶）

- 撮影モード時に、設定を変更したときは、上記の設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- 連続撮影やSCN（ 、 ）、動画 のとき、液晶モニターは消せません。
- インデックス再生時（p. 68）は、詳細表示に切り換わりません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

*液晶モニターに表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

[ ] *1 スポット測光枠（p. 50） | □ *1 AF 枠（p. 47）

*1 バッテリー残量低下（p. 97）

ズーム倍率 *1（p. 32）

ストロボ（基本編 p. 8）

赤目緩和（基本編 p. 8）

縦横自動回転（p. 63）

●録画 *1 動画撮影（p. 38）

撮影モード
AUTO *2 （基本編 p. 6 ～ 7）
（p. 42）
*1 *1 *2 *1 （p. 38）
P Tv *2 Av *2 M （p. 43 ～ 46）

*1 フォルダ作成通知（p. 64）

・静止画：記録可能画像数
・動画：記録可能時間 / 記録時間

グリッドライン *1（p. 24）

ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 感度（p. 61）

*2 ホワイトバランス（p. 52）

ドライブモード（p. 33、36）

マイカラー（p. 54）

ストロボ調光補正 / ストロボ発光量（p. 62）

測光方式（p. 50）

L M1 M2 S W 640 320 160 記録画素数（p. 30、41）

圧縮率（静止画）（p. 31）

30 15 フレームレート（動画）*2（p. 41）

シャッタースピード *1（p. 44、p. 46）

絞り数値 *1（p. 45、46）

-2 … +2 *1 露出補正（p. 51）

*1 マクロモード（基本編 p. 9）

MF *1 マニュアルフォーカス（p. 49）

MF *1 AF ロック（p. 48）

（赤）*1 手ぶれ警告（p. 17）
PowerShot A530 の場合、が表示されるとき、シャッタースピードも表示されます。

＊ 1 情報表示なしのときも表示されます。
＊ 2 PowerShot A540 のみ

ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ISO 感度を上げるか（p. 61）、ストロボを（発光禁止）以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください。

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

フォルダ番号 - 画像番号

100-0010

10/10 '06/03/03 9:30

撮影日時

WAVE タイプの音声（p. 74）

プロテクト情報（p. 76）

圧縮率（静止画）（p. 31）

L M1 M2 S W

記録画素数（静止画）（p. 30）

AVI

動画（p. 70）

総画像数

再生画像番号

■詳細表示

ヒストグラム

- 640 320 160 L60*1 L30*1 L20*2 L15 L10*2
  記録画素数 / フレームレート(動画) (p. 41)
  記録時間（動画）（p. 38）
- シャッタースピード（p. 44、46）
- 絞り数値（p. 45、46）
- ストロボ発光量（p. 62）
- -2 … +2
  ストロボ調光補正（p. 62）
- 撮影モード
  AUTO *1 (基本編 p. 6 ～ 7)
  (p. 42) (p. 38)
  P Tv*1 Av*1 M (p. 43 ～ 46)

- -2 … +2
  露出補正（p. 51）
- AWB *1
  ホワイトバランス（p. 52）
- V N Se BW P L D C A*3 S*3
  マイカラー（p. 54）
- ISO 80 ISO100 ISO200 ISO400 ISO800
  ISO 感度（p. 61）
- MF マニュアルフォーカス（p. 49）
- マクロモード（基本編 p. 9）
- 測光方式（p. 50）
- 記録画素数（静止画）（p. 30）

*1 PowerShot A540 のみ
*2 PowerShot A530 のみ
*3 ワンポイントカラー、またはスイッチカラーモードで撮影したときに表示されます。

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

♪?	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF（p. 114）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p. 51）。

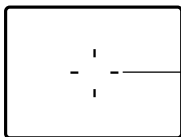
ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし（p. 15）、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

ファインダー

ランプの点灯/点滅について

カメラのランプは、以下の場合に点灯、点滅します。

緑ランプ点滅中は、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
- 振動や、衝撃を与える
- 電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

● **上側のランプ**

緑点灯： 撮影準備完了
緑点滅： 画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）
橙点灯： 撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅： 撮影準備完了（手ぶれ警告）、ストロボ充電中

● **下側のランプ**

黄点灯： マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影/AFロック撮影
黄点滅： ピントが合いにくいとき（電子音が1回鳴ります）。

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約3分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。(電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます。)
再生時 プリンター接続時	約5分間、カメラの操作を何もしないとき

*時間を変更できます。

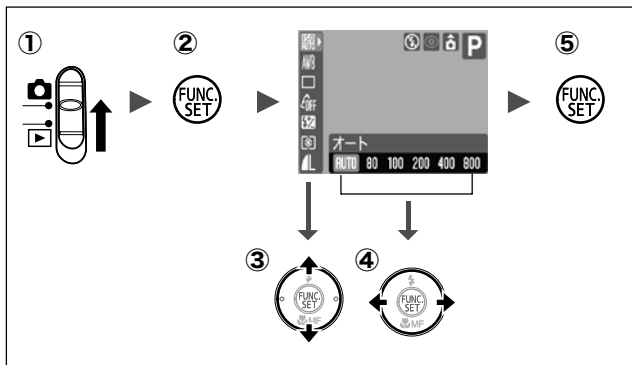
- オートプレイで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 26）。

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- **FUNC. メニュー**
- **撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー**

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

①モードスイッチを 📷 にする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ

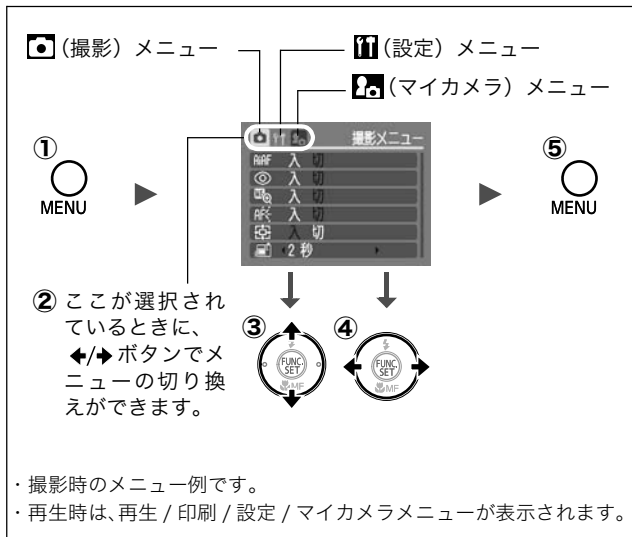
・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ◀/▶ ボタンで設定内容を選ぶ

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。
・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ボタンで設定内容を選ぶ

・「. . . 」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目	参照先	項目	参照先
ISO 感度	p. 61	測光方式	p. 50
ホワイトバランス	p. 52	圧縮率（静止画） 記録画素数（静止画）	p. 31 p. 30
ドライブモード	p. 33、36	PowerShot A540： 記録画素数 / フレームレート（動画） PowerShot A530： 記録画素数（動画）	p. 41
マイカラー	p. 54		
ストロボ調光補正 / 発光量	p. 62		

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AiAF	入＊ / 切	p. 47
ストロボ自動調光（PowerShot A540のみ）	入＊ / 切	p. 61
赤目緩和機能	入＊ / 切	基本編 p. 8
MF 拡大表示	入＊ / 切	p. 49
AF 補助光	入＊ / 切	－
デジタルズーム	入 / 切＊ （動画のスタンダードモード時は[入]）	p. 32
撮影の確認	切 /2 ＊～ 10 秒 / ホールド	基本編 p. 5
オリジナル保存	入 / 切＊	p. 60
グリッドライン	入 / 切＊	被写体の水平や垂直を確認するグリッドライン（9分割）を表示でき、構図が決めやすくなります。 なお、グリッドラインは画像には記録されません。
日付写し込み	切＊ / 日付のみ / 日付＋時刻	p. 35

再生メニュー

項目	参照先
オートプレイ	p. 75
音声メモ	p. 74
プロテクト	p. 76
回転	p. 73
全消去	p. 77
送信指定	p. 81

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p. 78
印刷する画像を指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	［入］にすると、警告音以外はすべて鳴りません。(基本編 p. 4)。
音量	切 / 1 / 2＊ / 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、［消音］が［入］になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。

項目	選択項目	内容 / 参照先
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、または音声メモの音量を調節します。
節電		p. 21
オートパワーオフ	入* / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
日付 / 時刻		基本編 p. 3
カードの初期化		p. 29
画像番号	通し番号* / オートリセット	p. 65
フォルダ作成		p. 64
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	作成時間も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p. 63
距離表示	m/cm * / ft/in	MF インジケーターの距離表示の単位を設定します（p. 49）。
レンズ収納時間	1 分* /0 秒	撮影モードから再生モードに切り換えたときのレンズの収納タイミングを設定します。
言語		基本編 p. 3

項目	選択項目	内容 / 参照先
ビデオ出力方式	NTSC＊ / PAL	p. 110
印刷接続方式	自動＊ /	下記参照＊1
初期設定		p. 28

＊1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、W 以外の画像サイズを印刷するときは、［自動］に戻してください。

マイカメラメニュー

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたマイカメラコンテンツをカメラに登録することができます。

＊初期設定

項目	内容
起動画面	電源を入れたときに、起動画面が表示されます。
起動音	電源を入れたときに、起動音が鳴ります。
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときに、音が鳴ります。
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影時に、撮影の 2 秒前をお知らせする音が鳴ります。
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときに、音が鳴ります。
設定内容	入＊ / 切

- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

設定を初期状態に戻す

1 (設定)メニュー▶ [初期設定]

メニュー操作（p. 23）

2 [OK]を選び、を押す

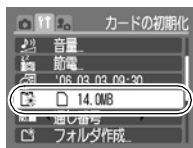
- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［(設定)］メニューの［日付 / 時刻]、［言語]、［ビデオ出力方式］の設定（p. 26）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (p. 53)
  - ［ワンポイントカラー］（p. 57）と［スイッチカラー］（p. 58）で取り込んだ色

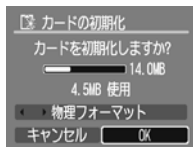
メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 (設定)メニュー▶ [カードの初期化]

メニュー操作（p. 23）

2 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

- 物理フォーマットをする場合は、▲ボタンで［物理フォーマット］を選び、◀/▶ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にFUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

物理フォーマットについて
メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 〜 3 分かかる場合があります。

記録画素数と圧縮率を変更する（静止画）

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

1 FUNC.メニュー ▶ *▶ L（記録画素数）▶ MENU ▶ （圧縮率）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ←/→ボタンで記録画素数 / 圧縮率を選び、FUNC./SETボタンを押します。

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数				用途
	PowerShot A540	PowerShot A530		
L ラージ	2816 × 2112 画素	2592 × 1944 画素	大きい	(PowerShot A540) A3 サイズ程度に印刷するとき (PowerShot A530) A4 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	2272 × 1704 画素	2048 × 1536 画素	↑	(PowerShot A540) A4 サイズ程度に印刷するとき (PowerShot A530) A5 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	1600 × 1200 画素		↓	L 判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素		小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき

L判 プリント	1600 × 1200 画素		L判やはがきサイズに印刷するとき（p.34）
ワイド	2816 x 1584 画素	2592 x 1456 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16：9 の画像を撮影でき、記録されない領域は黒くなります）

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量（目安）（p. 120）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)(p. 117、p. 118)

デジタルズームで撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
- 静止画：最大約 16 倍
- 動画（スタンダード）：最大約 16 倍（PowerShot A540）
  最大約 8.1 倍（PowerShot A530）

液晶モニターが消えているときは、デジタルズームは使えません。

1 **（撮影）メニュー ▶ [デジタルズーム] ▶ [入]**

メニュー操作（p. 23）

2 **ズームレバーを[]側に押し、撮影する**

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します（静止画撮影時）。再度[]側へ押すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- 側へ押すと、倍率が下がります。

- デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。
- 動画撮影時にデジタルズームを使用できるのは のみです。
- SCN（、）の場合、またや、の場合、デジタルズームは使用できません。

連続して撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p. 117、p. 118）。

＊推奨メモリーカード：

撮影の直前に物理フォーマット（p. 29）を行った超高速の SDC-512MSH（別売）

・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 FUNC.メニュー▶ □*（ドライブモード）▶

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 で □ を表示する

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。
- SCN（、）の場合、連続撮影は設定できません。

L判プリントモードに設定する

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

液晶モニターで印刷範囲（縦横比　約 3：2）を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 FUNC.メニュー▶ * ▶ (L判プリント)

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- 記録画素数は M2 (1600 × 1200)、圧縮率は (ファイン) になります。
- シャッターボタンを半押しすると、はがきサイズに印刷されない領域がグレーになります。

デジタルズームは使用できません。

印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

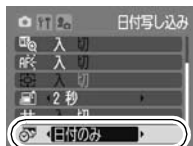
(L判プリント) のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 (撮影)メニュー▶ [日付写し込み]▶[日付のみ]/[日付+時刻]

メニュー操作 (p. 23)

●液晶モニターの表示

：[切]

：[日付のみ] / [日付+時刻]

- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (p. 26)。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

セルフタイマーで撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

シャッターボタンを押してから、10 秒後（）、2 秒後（）、または撮影の開始時間や撮影枚数を設定（：カスタム）して撮影できます。

1 FUNC.メニュー▶ *（ドライブモード）▶ / /

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ：撮影の２秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
- ：シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴り、2秒後に撮影されます。
- ：開始時間（0～10、15、20、30秒）や撮影枚数（1～10枚）を変更できます（p. 37）。ただし、SCN（、）、や では設定できません。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和の場合は２秒前から点灯）します。

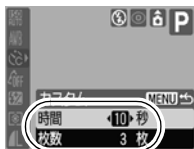
解除のしかた：手順 1 で、を表示する

撮影開始時間と撮影枚数を変更する（）

1 ▶ MENU

メニュー操作（p. 22）

2 [時間]/[枚数]を変更▶ MENU

- セルフタイマー音は、次のようになります。
  - 2秒以上の時間を設定したときは、撮影の2秒前から鳴り始めます。
  - ［枚数］で複数画像を設定した場合、1画像目の撮影時のみ鳴ります。

［枚数］が2枚以上の場合、次のようになります。
- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

動画を撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

動画撮影には、次のモードがあります。
各モードの記録画素数とフレームレートについては、「記録画素数とフレームレートについて 」（p. 41）をご覧ください。
記録可能時間は、お使いのメモリーカードによって異なります(p. 119)。

スタンダード

記録画素数やフレームレート＊1 を選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH)）。
また、撮影中にデジタルズームが使えます（p. 32)。

・1 回の最大記録容量：1GB ＊2

スムーズ（PowerShot A540 のみ）

スポーツなどの速い動きの撮影に使います。

・1 回の最長記録時間：1 分

ライト

記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、メモリーカードの容量が少ないときなどに使うと便利です。

・1 回の最長記録時間：3 分

ワンポイントカラー、スイッチカラー

画像の指定した色以外を白黒にしたり、指定した色を別の色に変えて、撮影できます（p. 57、p. 58)。
スタンダードと同様に、記録画素数やフレームレート＊1 を選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH))。

・1 回の最大記録容量：1GB ＊2

＊ 1 PowerShot A540 のみ、フレームレートを選べます。
＊ 2 記録容量が 1GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止する場合があります。

1 ←/→ ボタンで動画撮影モードを選ぶ

- 🎞 や 🎞A、🎞S の場合は、記録画素数やフレームレートを変更できます（p. 40）。
- 🎞A や 🎞S の手順は、「色を変えて撮る」（p. 57）をご覧ください。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
- シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と［●録画］が表示されます。
- 再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間を経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 29）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイクに触れないでください。
  - シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。

動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0 以上が必要です（付属の Canon Digital Camera Solution Disk には、Windows 版の QuickTime が収められています。なお、Mac OS X 以降には標準装備されています）。

記録画素数とフレームレートを変更する（動画）

動画撮影モードが、(スタンダード）または (ワンポイントカラー）、(スイッチカラー）のとき、記録画素数やフレームレート*を変更できます。

*PowerShot A540のみ、フレームレートを変更できます。

■PowerShot A540

1 FUNC.メニュー▶ * ▶ (記録画素数) ▶ ▶ (フレームレート)

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ◆/◆ボタンで記録画素数/フレームレートを選び、FUNC./SETボタンを押します。

■PowerShot A530

1 FUNC.メニュー▶ *(記録画素数)

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

- ◆/◆ボタンで記録画素数を選び、FUNC./SETボタンを押します。

記録画素数とフレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

■PowerShot A540

	記録画素数	フレームレート		
		60 フレーム / 秒	30 フレーム / 秒	15 フレーム / 秒
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 × 480 画素	―	○*1	○
	320 × 240 画素	―	○	○
スムーズ*2	320 × 240 画素	○	―	―
ライト*2	160 × 120 画素	―	―	○

＊1 初期設定

＊2 記録画素数とフレームレートは固定です。

■PowerShot A530

フレームレートは、固定です。

	記録画素数	フレームレート		
		20 フレーム / 秒	15 フレーム / 秒	10 フレーム / 秒
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 × 480 画素	―	―	○*1
	320 × 240 画素	○	―	―
ライト	160 × 120 画素	―	○	―

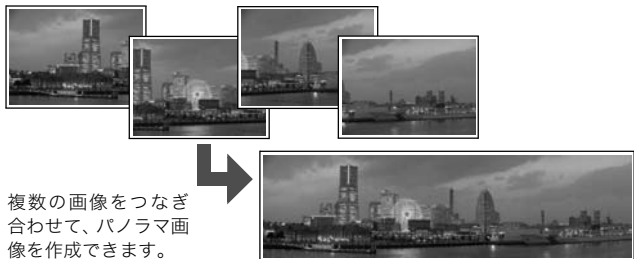
＊1 初期設定

- 1 画像の容量（目安）（p. 120）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)(p. 119)

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 ←/→ボタンで撮影方向を選ぶ

- 次の2つの方向が選べます。
  - →左から右方向へ水平に撮影します。
  - ←右から左方向へ水平に撮影します。

2 最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- ←/→ボタンを押すと、1つ前の撮影済み画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大26画像まで撮影できます。
- 最後の撮影後、FUNC./SETボタンを押します。

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。
- ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。
  - 露出補正 / 撮影方向の選択

P プログラムAEで撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られない場合、シャッターボタンを半押ししたときに、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります（PowerShot A540 のみ）。
  - ストロボを使用する
  - ISO 感度を変更する
  - 測光方式を変更する

Tvシャッタースピードを決めて撮る

PowerShot A540 SCN P **Tv** Av M

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、←/→ボタンでシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、1.3 秒以上のスローシャッター時に、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です。1/500 秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に 1/500 秒に再設定され、撮影されます。

シャッタースピードの表示

- 以下のシャッタースピードに設定できます。1/160 は 1/160 秒を表します。また、0"3 は 0.3 秒を、2" は 2 秒を表しています。

15" 13" 10" 8" 6" 5" 4" 3"2 2"5 2" 1"6 1"3 1" 0"8 0"6 0"5 0"4 0"3 1/4 1/5 1/6 1/8 1/10 1/13 1/15 1/20 1/25 1/30 1/40 1/50 1/60 1/80 1/100 1/125 1/160 1/200 1/250 1/320 1/400 1/500 1/640 1/800 1/1000 1/1250 1/1600 1/2000

Av絞りを決めて撮る

PowerShot A540 AUTO SCN P Tv **Av** M

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調節するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

- シャッタースピードが赤字で表示されるときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、←/→ ボタンで絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります（p. 46）。

ストロボ同調シャッタースピードは、1/60 ～ 1/500 秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

F2.6 F3.2 F3.5 F4.0 F4.5 F5.0 F5.5 F5.6 F6.3 F7.1 F8.0

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av **M**
PowerShot A530	AUTO SCN P **M**

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。
- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±２段を超えると、液晶モニターに、「－２」または「＋２」と赤字で表示されます。

*設定されている測光方式をもとに測光を行って、標準露出を算出します。

- 露出を変更したい場合は、ボタンでシャッタースピードか絞り数値を選び、◆/◆ ボタンで数値を変更してください。
- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じた絞り数値に変更される場合があります。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や、被写体が暗い場合、ストロボを（常時発光（赤目緩和））または（常時発光）にすると、常に明るく表示されます。
- PowerShot A530 で設定できるシャッタースピードは、PowerShot A540 と同じです。p. 44 でご確認ください。
- PowerShot A530 で設定できる絞り数値は以下のとおりです。PowerShot A540 は、p. 45 でご確認ください。なおズーム位置によっては選べない絞り数値があります。

F2.6 F3.2 F3.5 F4.0 F4.5 F5.0 F5.5 F5.6 F6.3 F7.1 F8.0 F9.0 F10 F11

- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは次のように変わります。

PowerShot A540

	絞り数値	シャッタースピード（秒）
ワイド端	F2.6 ～ 3.5	15 ～ 1/1250
	F4.0 ～ 8.0	15 ～ 1/2000
テレ端	F5.5 ～ 7.1	15 ～ 1/1250
	F8.0	15 ～ 1/2000

PowerShot A530

	絞り数値	シャッタースピード（秒）
ワイド端	F2.6	15 ～ 1/1250
	F5.6	15 ～ 1/2000
テレ端	F5.5	15 ～ 1/1250
	F11	15 ～ 1/2000

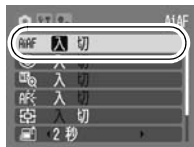
ピントの合わせかたを切り換える

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

オートフォーカス枠（AF 枠）はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選択できます。

（枠なし）	入	撮影状況に応じて、9つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 (撮影)メニュー ▶ [AiAF] ▶ [入]/[切]

メニュー操作（p. 23）

- デジタルズーム使用時は、AF枠は中央1点に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります（液晶モニターがついているとき）。
  ・緑色：撮影準備完了
  ・黄色：ピントが合いにくいとき（ AiAF が［切］のとき）

ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック、マニュアルフォーカス)

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。
- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

どの撮影モードでも操作できます。

1. ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダーの中央または液晶モニターのAF枠に収める
2. シャッターボタンを半押しする
3. カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

1. 液晶モニターをつける
2. ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める
3. シャッターボタンを半押ししながら、MFボタンを押す
   - MF とMFインジケーターが表示されます。
4. カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：MFボタンを押す

- AF ロックは、AUTO、SCNが のとき、 では操作できません。
- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、AiAF を［切］にすると（p. 47)、中央の AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

1 液晶モニターをつける

2 MFボタンを何回か押して、MF を表示する

MF インジゲーター

- MFインジケーターが表示されます。
- （撮影）メニューの ［MF拡大表示］が［入］のとき、AF枠を中心に画像が拡大表示*されます。

＊ 、デジタルズーム時や、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。
＊拡大表示しない設定にもできます（p. 24)。

- 撮影モードによって、 ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。

撮影モード	設定できる項目
、 、 、P	露出補正 / MF
SCN	SCN モード / 露出補正 / MF
	モード / MF
Tv *	シャッタースピード / 露出補正 / MF
Av *	絞り数値 / 露出補正 / MF
M	シャッタースピード / 絞り数値 / MF

＊PowerShot A540のみ

撮影する

3 ←/→ボタンを押して、ピントを合わせる

- MFインジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。

解除のしかた：MFボタンを押す

- マニュアルフォーカスは、AUTO、SCNが のとき、 では操作できません。

測光方式を切り換える

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

1 FUNC.メニュー▶ *（評価測光）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ←/→ボタンで測光方式を選び、FUNC./SETボタンを押します。

測光方式の種類

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。 画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

露出を補正する

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。

1 液晶モニターをつける

2 露出補正バーが表示されるまでボタンを何回か押す

- ←/→ボタンで露出を補正し、ボタンを押します。
- 撮影モードによって、ボタンを押すたびに、以下のように設定できる項目が切り換わります。

SCN	SCNモード / 露出補正
Tv*	シャッタースピード / 露出補正
Av*	絞り数値 / 露出補正

*PowerShot A540のみ

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

SCN（、）の場合、露出補正は設定できません。

撮影する

色合いを調整する（ホワイトバランス）

PowerShot A540	AUTO P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO P M

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWBで自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー▶AWB*（オート）

メニュー操作（p. 22）

*初期設定

● ←/→ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC./SETボタンを押します。

ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	水中*	ウォータープルーフケース WP-DC2（別売）を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。

*PowerShot A540 のみ

マイカラーが や の場合、また動画の や の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。
・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC. メニュー ▶ AWB *（オート）▶（マニュアル）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

2 白い紙や布にカメラを向け、MENU を押す

- 液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は、画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。

- 撮影モードを**P**にし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オート / 赤目緩和オートで、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。

- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません（p. 28）。

マイカラーで撮る

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

画像の印象を変えて撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ *（マイカラー切）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンでマイカラーモードを選びます。
- と はMENUボタンで切り替わります。

2 撮影する

- **のとき**
「カスタムカラーモードに設定する」（p. 56）をご覧ください。
- **以外のとき**
FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

動画の や の場合、マイカラーは設定できません。

マイカラーの種類

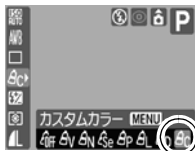
OFF	マイカラー切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
Se	セピア	セピア色にする
BW	白黒	白黒にする
P	ポジフィルムカラー	ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
L	色白肌*	人物の肌を色白にする
D	褐色肌*	人物の肌を褐色にする
C	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さ / 赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更したりして撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

*被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。

*肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

カスタムカラーモードに設定する

1 **(カスタムカラー) ▶ MENU**

メニュー操作 (p. 22)

2 **▲/▼ボタンで[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀/▶ボタンで調整する**

- 調整結果が表示されます。

3 **FUNC. SET**

- 設定を終了します。

このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

色を変えて撮る

撮影モード SCN( ) ( )

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存] 機能（p. 60）を [入] にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録できます。

	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

- 撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 静止画：SCN ▶ ←/→ボタン ▶
動画： ▶ ←/→ボタン ▶

撮影モードを選ぶ（基本編 p. 5）

静止画時　　動画時

2 DISP.

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

撮影する

3 液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す

- 指定できるのは1色です。
- ▲/▼ ボタンで、残したい色の範囲を変更できます。
  −5：残したい色だけを取り込みます。
  +5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 ○ DISP. で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する

1 **静止画：SCN ▶ ←/→ボタン ▶ [スイッチカラー]**
動画：[動画] ▶ ←/→ボタン ▶ [スイッチカラー]

撮影モードを選ぶ（基本編 p. 5）

静止画時　　動画時

2 DISP.

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

静止画時

3 **液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、←ボタンを押す**

- 指定できるのは1色です。
- ↑/↓ボタンで、変えたい色の範囲を変更できます。
  −5：変えたい色だけを取り込みます。
  ＋5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 **液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、→ボタンを押す**

- 指定できるのは1色です。

5 **DISP.で設定を終了し、撮影する**

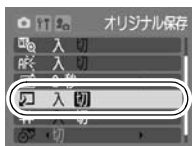
- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラーやスイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 （撮影）メニュー ▶ [オリジナル保存] ▶ [入]/[切]

メニュー操作（p. 23）

- ［入］の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラーやスイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

［オリジナル保存］を［入］に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後、液晶モニターには、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ISO感度を変更する

PowerShot A540	AUTO 人物 風景 夜景 SCN スティッチ 動画 P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO 人物 風景 夜景 SCN スティッチ 動画 P M

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 FUNC.メニュー▶ ISO AUTO *(オート)

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンでISO感度を選び、FUNC./SETボタンを押します。
- ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- **M** モード時は、ISO AUTO を設定できません。

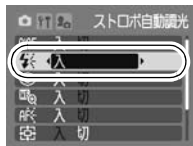
ストロボの自動調光設定を切り換える

PowerShot A540	AUTO 人物 風景 夜景 SCN スティッチ 動画 P Tv Av M

内蔵ストロボは自動調光で発光されます（**M**を除く）が、自動調光しないように設定することもできます。

1 (撮影)メニュー▶ [ストロボ自動調光]▶[入]/[切]

メニュー操作（p. 23）

撮影する

ストロボ調光量 / 発光量を補正する

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

ストロボ調光補正	● 撮影モードが、、、、**P** のとき、または **Tv** 、**Av** で［ストロボ自動調光］が［入］のとき（p. 61）、標準調光を中心に－２～＋２の範囲で 1/3 段ずつ変更できます。 ● カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
ストロボ発光量	● 撮影モードが **M** または **Tv** 、**Av** で［ストロボ自動調光］が［切］のとき（p. 61）、ストロボの発光量をフル発光から３段階で制御して撮影できます。

1 液晶モニターをつける

2 FUNC.メニュー ▶ （ストロボ調光補正）/ （ストロボ発光量）

メニュー操作（p. 22）

● ←/→ ボタンで補正量/発光量を選び、FUNC./SETボタンを押します。

画面例：
ストロボ調光補正の場合

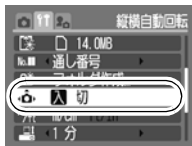
縦横自動回転の設定をする

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 （設定）メニュー ▶ [縦横自動回転] ▶ [入]/[切]

メニュー操作（p. 23）

● 撮影時に縦横自動回転を［入］にすると、液晶モニターに（情報表示ありのとき）、（通常）、（右が下）、または（左が下）が表示されます。

● カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
● 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

● このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。
● 撮影モードと再生モードで、個別に設定できます。
  - 撮影モードで［入］に設定したときは、撮影した画像に縦横方向が記録されますので、再生時には、撮影時のカメラの向きに応じて、自動的に画像の縦横が切り換わります。
  - 再生モードで［入］に設定したときは、再生時のカメラの向きに応じて、画像の天地を正しく液晶モニターに表示します。

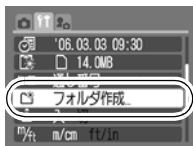
画像の保存先(フォルダ)を作成する

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

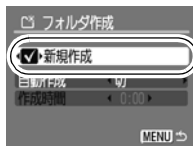
任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

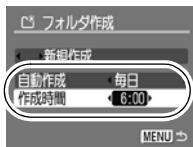
1 (設定)メニュー▶[フォルダ作成]

メニュー操作(p.23)

次回撮影時にフォルダを作成する

2 [新規作成]に ◆/◆ ボタンでチェックマークをつける ▶ MENU

- 液晶モニターにが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

指定した日時にフォルダを作成する

2 [自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する▶ MENU

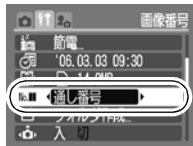
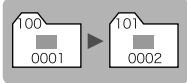
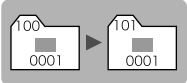
● 指定した時間になると、液晶モニターにが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

● ひとつのフォルダに 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

PowerShot A540	AUTO SCN P Tv Av M
PowerShot A530	AUTO SCN P M

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー▶[画像番号]▶[通し番号]/[オートリセット]

メニュー操作 (p. 23)

画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけられます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。
オート リセット	フォルダ番号、画像番号が初期値（100-0001）に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。

*新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のメモリーカードに交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 100 0001 ▶ 101 0002	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 0001 ▶ 100 0002
オートリセット	メモリーカード 1 100 0001 ▶ 101 0001	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 0001 ▶ 100 0001

・次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
　・連続撮影　・セルフタイマー（カスタムの場合）
　・スティッチアシスト
　・静止画のワンポイントカラー / スイッチカラー（[オリジナル保存] が [入] の場合）
・同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
・フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編（p. 10）もご確認ください。

拡大して見る

1 **ズームレバーを 側に押す**

- SET が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。

表示位置の目安

2 **▲/▼ または ◀/▶ ボタンで表示位置を変更する**

- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、SET が表示されます。◀/▶ ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度FUNC./SETボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを 側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 ズームレバーを側に押す

- 9画像ずつ表示されます。
- ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ◀/▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- FUNC./SET ボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

解除のしかた：ズームレバーを Q 側に押す

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の 5 つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する
	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。

現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

2 ▲/▼ ボタンで検索キーを選び、◀/▶ ボタンを押す

解除のしかた：MENU ボタンを押す

動画を見る

インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、FUNC.SETを押す

- SET の表示されている画像が動画です。

2 ▶（再生）を選び、FUNC.SETを押す

- 再生中にFUNC./SETボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SETボタンを押すと、再度、動画再生パネルが表示されます。

動画再生パネルの操作

↩	シングル再生に戻る
🖶	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
▶	再生
‖▶	スロー再生（スロー再生の速度は、◀ボタンで遅く、▶ボタンで速くできます。）
⏮	先頭フレームを表示
◀‖	フレーム戻し（FUNC./SETボタンを押し続けると早戻しします。）
‖▶	フレーム送り（FUNC./SETボタンを押し続けると早送りします。）
⏭	最終フレームを表示
✂	編集（動画編集モードに切り換えます。）（p. 71）

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p. 83）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

プロテクトされている動画、撮影時間が 1 秒未満の動画は編集できません。

1 動画再生パネルの（編集）を選び、FUNC./SETを押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル

動画編集バー

2 ↑/↓ボタンで（前部を削除）または（後部を削除）を選び、←/→ボタンで削除する位置（）を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、（再生）を選んでFUNC./SETボタンを押します。
- （終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 （保存）を選び、FUNC./SETを押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC./SET)を押す

- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にFUNC./SETボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中で電池がなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、未使用の単3形アルカリ電池かフル充電の単3形ニッケル水素電池あるいは AC アダプターキット ACK800（別売）のご利用をおすすめします（p. 103）。

回転して表示する

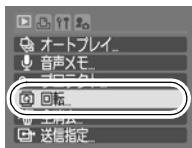
時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

90 度

270 度

1 **(再生)メニュー▶**

メニュー操作（p. 23）

2 **◆/◆ ボタンで回転する画像を選び、(FUNC. SET) を押して回転する**

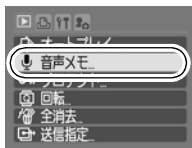
- FUNC./SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

音声メモをつける

画像の再生中（シングル再生、インデックス再生）に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作（p. 23）

2 **←/→ ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC/SET を押す**

- 音声メモパネルが表示されます。

3 **(録音)を選び、FUNC/SET を押す**

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- FUNC./SETボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。

音声メモパネル

録音時間 / 録音可能時間

音量（↑/↓ ボタンで調節）

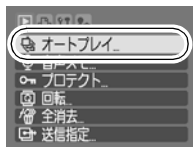
音声メモパネルの操作

(終了)	設定を終了します。
(録音)	録音
(停止)	停止
(再生)	再生
(消去)	消去 表示される画面で [消去] を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

画像を自動再生する（オートプレイ）

メモリーカード内の全画像を自動再生します。再生間隔は 3 秒です。

1 (再生)メニュー▶ (オートプレイ)

メニュー操作（p. 23）

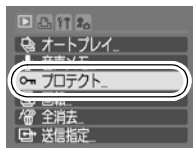
2 (FUNC. SET)を押す

- 自動再生中は、次のことができます。
  - オートプレイの一時停止/再開：FUNC./SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻し：◆/◆ ボタンを押す（ボタンを押し続けると早く進みます。）
  - オートプレイの中止：MENUボタンを押す

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作 (p. 23)

2 ←/→ ボタンでプロテクトしたい画像を選び、FUNC. SET を押す

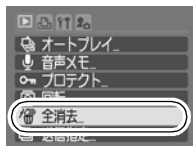
- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと設定を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

プロテクトマーク

全画像を消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作（p. 23）

2 [OK]を選び、FUNC/SETを押す

- 全消去を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。

画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください(p. 29)。

印刷指定 / 送信指定する

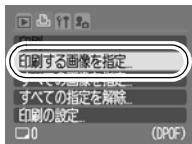
DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 (印刷)メニュー ▶ [印刷する画像を指定]

- [すべての指定を解除] を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。

2 ←/→ボタンで印刷する画像を選ぶ

- 印刷タイプの設定（p. 80）によって異なります。
  - スタンダード（■）/両方（■ ⊞）
    画像を選び、FUNC./SET ボタンを押して ↑/↓ ボタンで印刷枚数を指定します（最大99枚まで）。

印刷枚数表示

  - インデックス（⊞）
    画像を選び、FUNC./SETボタンで指定、指定解除を行います。

インデックス印刷の選択

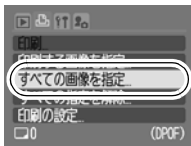
- インデックス再生にしても設定できます。
- プリンターに接続している場合、画像の指定中に、ボタンが青色に点灯します。このとき、ボタンを押して、[印刷]が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

メモリーカード内のすべての画像を指定する

1 （印刷）メニュー▶[すべての画像を指定]

- すべての画像に対して1枚ずつ印刷指定されます。
- ［すべての指定を解除］を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。
- プリンターに接続している場合、FUNC./SETボタンを押した後、ボタンが青色に点灯します。このとき、ボタンを押して、[印刷]が選択されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押すと、印刷が開始されます。

2 [OK]を選び、(FUNC/SET)を押す

印刷指定／送信指定する

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。

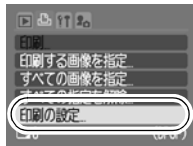
印刷スタイルを設定する

印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付（入 / 切＊）		日付を入れて印刷します。
画像番号（入 / 切＊）		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除（入＊ / 切）		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 **（印刷）メニュー ▶［印刷の設定］▶ FUNC.SET**

メニュー操作（p. 23）

2 **［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］、［印刷後指定解除］のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ**

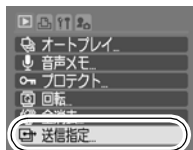
- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - [インデックス] のとき
    [日付] と [画像番号] を同時に設定できません。
  - [スタンダード] または [両方] のとき
    [日付] と [画像番号] を同時に [入] に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- (L 判プリント) で日付を写し込んだ画像 (p. 35) は、[日付] が [切] でも、写し込んだ日付が印刷されます。
- 日付は、[日付 / 時刻] で設定した日付スタイルで印刷されます (p. 26、基本編 p. 3)。
- 日付を写し込んだ画像を印刷する場合、DPOF の印刷指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複して印刷されます。

DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF (Digital Print Order Format) に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作 (p. 23)

1 画像ずつ指定する

2 **[画像指定]を選び、(FUNC/SET)を押す**

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 **←/→ボタンで送信する画像を選び、(FUNC/SET)を押す**

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択

メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 **[全画像]を選び、(FUNC/SET)を押す**

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 **[OK]を選び、(FUNC/SET)を押す**

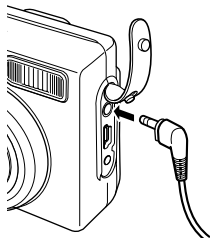
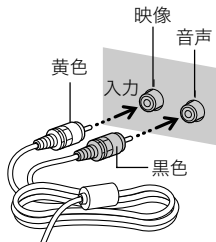
- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力形式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

- 端子カバーの下端に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで押し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる

ビデオ出力形式の設定方法（p. 27）

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください(基本編 p. 4)。
メモリーカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください(基本編 p. 1)。
電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください(基本編 p. 1)。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください(基本編 p. 1)。
電池の電圧が足りません(「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます)。	●未使用の電池または、十分に充電された充電池に2本とも交換してください(基本編 p. 1)。 ●AC アダプターキット ACK800(別売)を使用してください(p. 103)。
カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●電池を数回入れ直してください。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SDメモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	● 書き込み、消去、初期化したいときは、スイッチを上にスライドしてください（p. 99）。
日付 / 時刻の設定画面が表示された	
コイン型リチウム電池の容量がなくなっています。	● コイン型リチウム電池を交換してください（p. 108）。

液晶モニター

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● これはCCD特有の現象でカメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。
画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	● カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。
赤紫などの帯が縦に表示された	
被写体が極端に明るすぎます。	● これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。
[手ブレ警告アイコン] が表示された	
光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	● ISO 感度を上げるか（p. 61）、ストロボを [発光禁止アイコン]（発光禁止）以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください（p. 17）。

⚠が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定または送信指定されたメモリーカードです。	● このカメラでそれらの印刷指定または送信指定を変更すると、設定内容はすべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 78）。

ノイズが表示される/表示される被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p. 15）。	● 記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
モードスイッチを ▶（再生）に合わせています。	● モードスイッチを 📷（撮影）にしてください（基本編 p. 4）。
ストロボが充電中です。	● 充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます（p. 20）。
メモリーカードの空き容量がありません。	● 新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p. 1）。 ● 必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	● メモリーカードを初期化してください（p. 29）。 ● メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。

SDメモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。	●SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください(p. 99)。

ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください(p. 15)。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

AF補助光が[切]になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF補助光が光ってピントを合いやすくします。AF補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF補助光を発光させてください(p. 24)。このとき、AF補助光投光部に手がかからないように注意してください。
シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●セルフタイマーを (2秒タイマー)に設定すると、シャッターボタンを押した2秒後に撮影されるので、カメラのブレを防ぐことができます(p. 36)。また、カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用しても、ブレのない画像を撮影できます。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください(p. 112)。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください(p. 48)。

撮影した画像の被写体が暗すぎる	
撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを（常時発光）にしてください（基本編 p. 8）。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 51）。 ●スポット測光機能をお使いください（p. 50）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 113）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 61）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする	
被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボの撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 113）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 51）。 ●スポット測光機能をお使いください（p. 50）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p. 8）。

画像にノイズがある	
ISO 感度が高すぎます。	●高い ISO 感度を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 61）。 ● SCN モードの、、、*、、、、では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。 * PowerShot A540 のみ

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側や、絞り優先 AE *で絞り数値を大きくして撮影したときに、目立ちやすくなります。 * PowerShot A540 のみ	● デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	● (赤目緩和)で撮影してください(基本編 p. 8)。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。 ●「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約1秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	● 連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを初期化することをおすすめします(p. 29)。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください(p. 29)。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	● メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください(基本編 p. 1)。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影/消去を繰り返した	● 撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p. 29）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した

カメラの内部メモリーが少なくなりました。	● 以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする（p. 29） - 高速のメモリーカード（SDC-512MSH など）を使用する - 記録画素数を小さくしたり、フレームレート*を下げる（p. 40） *PowerShot A540 のみフレームレートを変更できます。

ズームできない

動画撮影中にズームレバーを押しました。	● 撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください（基本編 p. 8）。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	● 付属のZoomBrowser EXやImageBrowserを使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	● ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください（詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください）。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリー カードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ出力方式を PAL 方式に設定し、(スムーズ動画）*で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。 * PowerShot A540 のみ	● オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 29）。

電池

電池の消耗が早い

不適切な電池が入っています。	●未使用の単 3 形アルカリ電池またはキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください（基本編 p. 1）。
周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。 ●電池を数回入れ直してください。
キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をお使いの場合	
1年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
充電池の寿命です。	●２本ともすべて未使用の充電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない

お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式（NTSC または PAL）に合わせてください（p. 27）。日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（基本編 p. 5）。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	● 指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	● プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	● (設定)メニューの [印刷接続方式] で [自動] を選択してください (p. 27)。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中…

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。再生モードを起動中です。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。

ライトプロテクト

SD メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常があります。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定や音声メモができません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに 2 本とも未使用の単３形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単３形ニッケル水素電池に交換してください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像を再生しようとしました。

データが壊れています

データが破壊されている画像を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

特殊なタイプ（他社カメラ特有の記録タイプなど）で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転させせようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声メモのタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、[パソコンの背景]を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定の画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定を保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

メモリーカードに大量の画像(1000 画像程度)があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、サービスセンターへお持ちくださん。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

- **このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）です。**

  単3形ニカド電池もお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。

- **アルカリ電池の銘柄によっては、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。**

  アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。

- **低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池（別売）のご使用をおすすめします。**

  アルカリ電池は低温下では使用可能時間が短くなります。またニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。

- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**

  古い電池が液漏れを起こすことがあります。

- **電極（⊕と⊖）を逆にして入れないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- **電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてください。**

  電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

●**低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン（▭）が早めに表示されることがあります。**

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

●**ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。**

電池がショートするおそれがあります。

●**長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。**

電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

外装シールが（一部または全体に関わりなく）剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

以下のような形状の電池はご使用になれません。

外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池（裸電池）

プラス電極が平らな電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

メモリーカードの取り扱い

SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて

取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**
  電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

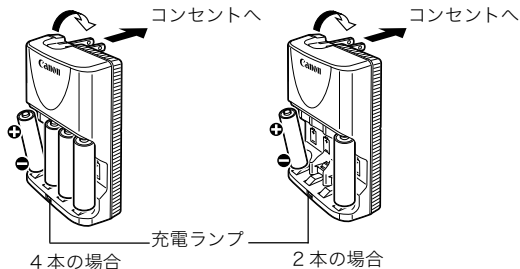
・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う
(バッテリー / チャージャーキット CBK4-300)

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。2 本でも充電できます。

・バッテリーチャージャーに電池を装着してから、コンセントに差してください。

・電池の充電開始後に、電池を追加して充電しないでください。

・充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- バッテリーチャージャー CB-5AH はキヤノン製単3形ニッケル水素電池 NB-3AH、NB-2AH 専用です。その他の電池を充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している 2 本を同時に充電してください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニターに表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを 2 ～ 3 回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1 年程度）保管する場合は、カメラで電池を使い切ってから、湿度の低い、室温（0 ～ 30 ℃）で保管してください。フル充電の状態で長期間保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。
  また 1 年以上使用しないときは、年に 1 度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をご購入ください。

● 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して、乾燥した冷暗所に保管してください。

● 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約 4 時間 40 分です。2 本を両端にセットしたときは、約 2 時間です（当社測定基準による）。また、0 〜 35 ℃の環境で充電してください。
● 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
● バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
● バッテリー / チャージャーキットCBK4-200もお使いになれます。

・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記の「キヤノン / キヤノン販売」のホームページで確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノン販売」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノン / キヤノン販売　ホームページ
http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

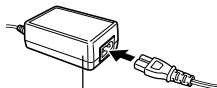
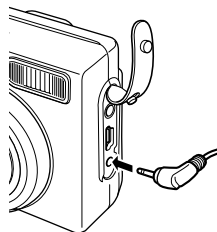
リサイクル時のご注意

・電池を分解しないでください。

AC アダプターキット ACK800 を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK800（別売）のご利用をおすすめします。

カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **端子カバーを開き、DC端子を接続する**

レンズ（別売）の使いかた（PowerShot A540のみ）

別売のワイドコンバーター WC-DC52、テレコンバーター TC-DC52A、クローズアップレンズ 250D（52mm）を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC52F が必要です。

- ワイドコンバーター / テレコンバーター/ クローズアップレンズを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター / テレコンバーター/ クローズアップレンズは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。光学ファインダーをのぞくと失明の恐れがあります。

- ストロボを使用すると、画像の周辺部（特に画面右下）が暗くなります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け（ケラレ）ることがあります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け（ケラレ）て見えます。液晶モニターをお使いください。

■ワイドコンバーター WC-DC52

広角撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 0.7 倍になります（ねじ径 52mm）。

■テレコンバーター TC-DC52A

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 1.75 倍になります（ねじ径 52mm）。

ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

■クローズアップレンズ 250D（52mm）

簡単にマクロ撮影をするためのレンズです。マクロモードで、レンズ前面から被写体までが、ワイド端で 4 ～ 17cm、テレ端で 14 ～ 17cm の至近距離で撮影できます。

撮影範囲（マクロモード時）について

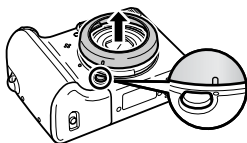
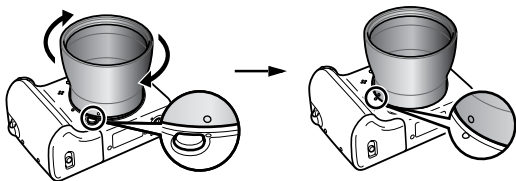
	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
ワイド端	4cm	56×42mm
テレ端	14cm	39×29mm

■コンバージョンレンズアダプター LA-DC52F
ワイドコンバーターやテレコンバーター、クローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです（ねじ径 52mm)。

レンズを取り付ける

1 電源が切れていることを確認する

2 リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回す

3 カメラの○とリングの⌂が合ったら、リングを上に引き上げて外す

4 コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの○に合わせてから、○のところまで矢印の方向に回して取り付ける

- コンバージョンレンズアダプターを取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら、反対方向に回します。

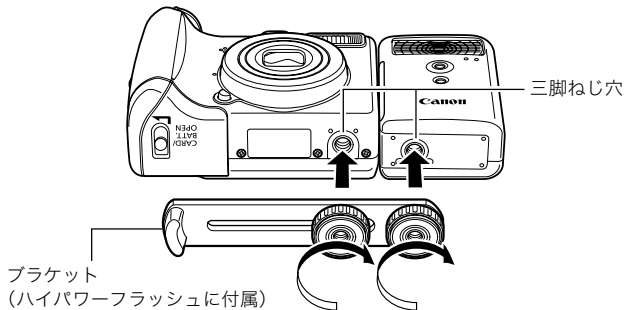
付録

5 **レンズを矢印の方向に回して確実に取り付ける**

- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- レンズを取り付けて[icon]で撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフトウェア「PhotoStitch」で正しく合成できません。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

- 撮影モードが**M**のとき、または**Tv**、**Av**で［ストロボ自動調光］が［切］のとき（p. 61）、ハイパワーフラッシュは発光しません。
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池(CR123AまたはDL123)が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

■電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地（0 ℃以下）でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

コイン型リチウム電池を交換する

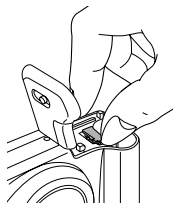
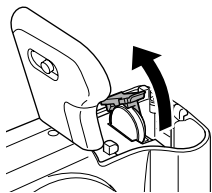
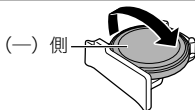
カメラの電源を入れたとき、日付 / 時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン型リチウム電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン型リチウム電池（CR1220）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります

- コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の素材の化学物質により胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認する

2 メモリーカードスロット/バッテリーカバー開放スイッチをスライドして開く

3 コイン電池ホルダーに爪をかけて軽く引き上げる

4 矢印の方向に取り出す

5 コイン型リチウム電池を矢印の方向に引き上げながら取り出す

6 新しいコイン型リチウム電池の(ー)側を上にして取り付ける

7 コイン電池ホルダーを元の位置に戻し、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる

8 日付 / 時刻設定メニューが表示されたら、日付 / 時刻を設定する(基本編　p. 3)

- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付 / 時刻の設定画面が表示されますが、コイン型リチウム電池を交換する必要はありません。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれます。ご使用の際は、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 27）。

電源について

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A540/A530

カメラ部有効画素数	：PowerShot A540：約 600 万画素 PowerShot A530：約 500 万画素
撮像素子	：PowerShot A540 1/2.5 型 CCD（総画素数 約 620 万画素） PowerShot A530 1/2.5 型 CCD（総画素数 約 530 万画素）
レンズ	：5.8（W）－ 23.2（T）mm (35mm フィルム換算 35（W）－ 140（T）mm) F2.6（W）－ F5.5（T）
デジタルズーム	：PowerShot A540 静止画 / 動画：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 16 倍） ：PowerShot A530 静止画：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 16 倍） 動画：約 2.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 8.1 倍）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：PowerShot A540：2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 8.5 万画素、視野率 100% PowerShot A530：1.8 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 7.7 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠：9 点（AiAF）/ 1 点（AF）
撮影距離 （レンズ先端より）	：PowerShot A540 通常撮影：45cm ～∞ マクロ撮影：5 ～ 45cm (W) /30 ～ 45cm (T) マニュアルフォーカス撮影：5cm ～∞（W）/ 30cm ～∞（T）

(W)：ワイド端（T)：テレ端

	：PowerShot A530 通常撮影：45cm ～∞ マクロ撮影：5 ～ 45cm（W）/33 ～ 45cm（T） マニュアルフォーカス撮影：5cm ～∞（W）/ 33cm ～∞（T）
シャッター	：メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2000 秒 ・撮影モードによって異なる ・1.3秒以上のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価 / 中央部重点平均 / スポット＊ ＊測光枠は中央固定
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度	：オート＊、ISO 80 / 100 / 200 / 400/ 800 相当 ＊オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / 水中＊ / マニュアル ＊PowerShot A540 のみ
内蔵ストロボ	：オート＊ / 常時発光＊ / 発光禁止 ＊赤目緩和設定可能
内蔵ストロボ 撮影範囲	：通常撮影：45cm～3.5m（W）/45cm～2.2m（T） マクロ撮影： PowerShot A540：30 ～ 40cm（W/T） PowerShot A530：33 ～ 45cm（W/T） （ISO 感度設定：オート）
ストロボ調光補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
撮影モード	：オート クリエイティブゾーン： プログラム / シャッタースピード優先＊ / 絞り優先＊ / マニュアル イメージゾーン： ポートレート / 風景 / 夜景 / スペシャルシーン＊＊ / スティッチアシスト / 動画＊＊＊ ＊：PowerShot A540 のみ ＊＊：ナイトスナップ、キッズ&ペット、パーティー / 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水中（PowerShot A540 のみ）/ ワンポイントカラー / スイッチカラー ＊＊＊：スタンダード、スムーズ（PowerShot A540 のみ）、ライト、ワンポイントカラー、スイッチカラー

（W）：ワイド端（T）：テレ端

連続撮影	：PowerShot A540：約 2.3 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき） PowerShot A530：約 2.1 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	：SD メモリーカード / マルチメディアカード 本機では、2GB までのメモリーカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
ファイルフォーマット	：DCF 準拠＊1、DPOF 対応
データタイプ（静止画）	：Exif 2.2（JPEG）＊2 音声メモ：WAVE（モノラル）
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG 、 音声データ：WAVE（モノラル））
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：PowerShot A540 ラージ：2816 × 2112 画素 ミドル 1：2272 × 1704 画素 ミドル 2：1600 × 1200 画素 スモール：640 × 480 画素 L 判プリント：1600 × 1200 画素 ワイド：2816 × 1584 画素 PowerShot A530 ラージ：2592 × 1944 画素 ミドル 1：2048 × 1536 画素 ミドル 2：1600 × 1200 画素 スモール：640 × 480 画素 L 判プリント：1600 × 1200 画素 ワイド：2592 × 1456 画素
（動画）	：PowerShot A540 スタンダード、ワンポイントカラー、スイッチカラー :640×480画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) :320×240画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊ (1 回の最大記録容量：1GB ＊＊) スムーズ：320 × 240 画素 (60 フレーム / 秒) 1 回の最長記録時間：1 分 ライト：160 × 120 画素 （15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：3 分

	PowerShot A530 スタンダード、ワンポイントカラー、スイッチカラー ：640 × 480 画素（10 フレーム / 秒） ：320 × 240 画素（20 フレーム / 秒） メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊ （1 回の最大記録容量：1GB ＊＊） ライト：160 × 120 画素 （15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：3 分 ＊：超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH） ＊＊：記録容量が 1GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ ジャンプ（10 枚ごと、100 枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画、各フォルダの先頭画像にジャンプが可能。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ オートプレイ / 音声メモ（最長 1 分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）
ダイレクトプリント	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B）、PTP［Picture Transfer Protocol］ 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
電源	：単 3 形アルカリ電池（2 本） 単 3 形充電式ニッケル水素電池（NB4-300）（別売）、AC アダプターキット ACK800（別売）
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ（突起部を除く）	：90.4 × 64.0 × 43.2mm

質量（本体のみ）	：PowerShot A540：約 180g PowerShot A530：約 170g

＊1 DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主としてDSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

＊2 このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時（CIPA 測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
単3形アルカリ電池（付属品）	約 90 画像	約 600 画像	約 5 時間
単3形ニッケル水素電池（NB-3AH（フル充電））	約 360 画像	約 1000 画像	約 7 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

<測定条件>

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。
・キヤノンブランドのメモリーカードを使用
*電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

電池の取り扱いについて（p. 97）

メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)

■PowerShot A540

□ : 付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 2816 × 2112 画素	S	5	45	176
	F	8	75	292
	N	19	156	603
M1 (ミドル 1) 2272 × 1704 画素	S	7	61	237
	F	13	109	425
	N	26	217	839
M2 (ミドル 2) 1600 × 1200 画素	S	14	121	471
	F	26	217	839
	N	50	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素	S	56	460	1777
	F	88	711	2747
	N	138	1118	4317
(L 判プリント) 1600 × 1200 画素	F	26	217	839
W (ワイド) 2816 × 1584 画素	S	7	60	235*
	F	12	101	392
	N	25	205	794

- ：スムーズ連写（p. 33）できます（＊：物理フォーマットした場合に可能）。
- 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

付録

■PowerShot A530

□：付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）2592 × 1944 画素	S	5	49	190＊
	F	10	87	339
	N	21	173	671
M1（ミドル 1）2048 × 1536 画素	S	9	76	295
	F	16	136	529
	N	33	269	1041
M2（ミドル 2）1600 × 1200 画素	S	14	121	471
	F	26	217＊	839
	N	50	411	1590
S（スモール）640 × 480 画素	S	56	460	1777
	F	88	711	2747
	N	138	1118	4317
（L 判プリント）1600 × 1200 画素	F	26	217＊	839
W（ワイド）2592 × 1456 画素	S	7	64	251
	F	14	118	457
	N	28	229	888

・　　：スムーズ連写（p. 33）できます（＊：物理フォーマットした場合に可能）。
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

動画

■PowerShot A540

□:付属のメモリーカード

	記録画素数	フレームレート	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640×480画素	L30	7 秒	1 分 4 秒	4 分 9 秒
		L15	15 秒	2 分 7 秒	8 分 14 秒
	320×240画素	L30	22 秒	3 分 1 秒	11 分 42 秒
		L15	43 秒	5 分 55 秒	22 分 53 秒
スムーズ	320×240画素	L60	11 秒	1 分 32 秒	5 分 59 秒
ライト	160×120画素	L15	1 分 47 秒	14 分 29 秒	55 分 57 秒

＊動画の 1 回の最長記録時間は、(スムーズ)：1分、(ライト)：3分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

■PowerShot A530

□:付属のメモリーカード

	記録画素数	フレームレート	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640×480画素	L10	23 秒	3 分 10 秒	12 分 16 秒
	320×240画素	L20	33 秒	4 分 29 秒	17 分 21 秒
ライト	160×120画素	L15	1 分 47 秒	14 分 29 秒	55 分 57 秒

＊動画の 1 回の最長記録時間は、(ライト)：3分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

1画像の容量（目安）

記録画素数		圧縮率		
		S	F	N
L	PowerShot A540 2816 × 2112 画素	2720KB	1620KB	780KB
	PowerShot A530 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M1	PowerShot A540 2272 × 1704 画素	2002KB	1116KB	556KB
	PowerShot A530 2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M2	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
W	PowerShot A540 2816 × 1584 画素	2026KB	1210KB	585KB
	PowerShot A530 2592 × 1456 画素	1890KB	1038KB	519KB

■PowerShot A540

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 640 × 480 画素	30	1920KB/ 秒
		15	960KB/ 秒
	320 320 × 240 画素	30	660KB/ 秒
		15	330KB/ 秒
スムーズ	320 320 × 240 画素	60	1320KB/ 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15	120KB/ 秒

■PowerShot A530

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 × 480 画素	L10	660KB/ 秒
	320 × 240 画素	L20	440KB/ 秒
ライト	160 × 120 画素	L15	120KB/ 秒

マルチメディアカード

インターフェース	マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	約 1.5g

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2g

ニッケル水素電池 NB-3AH

(別売のニッケル水素電池パック NB4-300 またはバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属)

形式	単 3 形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	2500mAh（最小：2300mAh）
充放電回数	約 300 回（目安）
動作温度	0 〜 40 ℃
大きさ	直径：14.5mm 長さ：50mm
質量	約 30g

バッテリーチャージャー CB-5AH

（別売のバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 16VA（100V）～ 21VA（240V）
定格出力	565mA ＊[1]、1275mA ＊[2]
充電時間	約 4 時間 40 分＊[1]、約 2 時間＊[2]
動作温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量（本体のみ）	約 95 g

＊ 1 NB-3AH 4 本の充電時
＊ 2 NB-3AH 2 本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたときの充電時

コンパクトパワーアダプター CA-PS800

（別売の AC アダプターキット ACK800 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 16VA（100V）～ 26VA（240V）
定格出力	DC3.15V/2A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	42.6 × 104.0 × 31.4mm
質量	約 180g（電源コードを除く）

PowerShot A540 のみ

ワイドコンバーター WC-DC52（別売）

倍率	0.7 倍
撮影距離 （レンズ先端より）	21cm ～∞（W）＊1
ねじ径	52mm 標準フィルターネジ＊2
大きさ	直径：58.0mm　長さ：30.5mm
質量	約 74g

テレコンバーター TC-DC52A（別売）

倍率	1.75 倍
撮影距離 （レンズ先端より）	1.4m ～∞（T）＊1
ねじ径	52mm 標準フィルターネジ＊2
大きさ	直径：55.2mm　長さ：46.7mm
質量	約 86g

クローズアップレンズ 250D 52mm（別売）

撮影距離 （レンズ先端より）	通常撮影：17 ～ 25cm（W / T） マクロ撮影：4 ～ 17cm（W / T）
ねじ径	52mm 標準フィルターネジ＊2
大きさ	直径：54mm　長さ：10.2mm
質量	約 55g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52F（別売）

ねじ径	52mm 標準フィルターネジ
大きさ	直径：55.6mm　長さ：39.1mm
質量	約 14g

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

＊1 PowerShot A540 装着時

＊2 PowerShot A540 に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52F が必要

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

●バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
●オンラインアルバムサービス
●携帯電話アルバム通知・閲覧サービス
●ホームプリンティングサービス
●プリント注文サービス（有料）
●オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）
●マイカメラコンテンツのダウンロード

http://www.imagegateway.net/

●最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
●会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。

			AUTO				SCN			P	(PowerShot A540のみ) Tv	Av	M	参照先
記録画素数	ラージ	L	●	●	●	●	●	▲	–	●	●	●	●	p. 30 p. 41
	ミドル1	M1	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	ミドル2	M2	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	スモール	S	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	L判プリント		○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	
	ワイド	W	○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	
	動画	640 320 160	–	–	–	–	–	–	○1)	–	–	–	–	
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	p. 31
	ファイン		●	●	●	●	●	▲	–	●	●	●	●	
	ノーマル		○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
フレームレート			–	–	–	–	–	–	○1)	–	–	–	–	p. 41
ストロボ	オート		●	●	○	●	2)、3)	–	–	○	–	–	–	基本編 p. 8
	常時発光		–	○	○	○		△	–	○	○	○	○	
	発光禁止		○	○	●	○		▲	–	●	●	●	●	
赤目緩和			○	○	○	○	○2)	△	–	○	○	○	○	基本編 p. 8
AF補助光			○	○	○	○	○2)	△	○	○	○	○	○	p. 24
ストロボ自動調光 (PowerShot A540のみ)			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–	p. 61
ストロボ調光補正			–	○	○	○	–	△	–	○	○	○	–	p. 62
ストロボ発光量設定			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	p. 62
ドライブモード	1画像撮影		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	–
	連続撮影		–	○	○	○	○2)	–	–	○	○	○	○	p. 33
	10秒、2秒 セルフタイマー		○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 36
	カスタム セルフタイマー		○	○	○	○	○2)	–	–	○	○	○	○	p. 36
AF枠の選択			–	○	○	○	○2)	–	–	○	○	○	○	p. 47
AFロック		MF	–	○	○	○	○2)	–	○	○	○	○	○	p. 48
マニュアルフォーカス		MF	–	○	○	○	○2)	–	○	○	○	○	○	p. 49
MF拡大表示			–	○	○	○	○2)	–	–	○	○	○	○	p. 49
マクロ撮影			○	○	–	○	○2)	○	○	○	○	○	○	基本編 p. 9
デジタルズーム			○	○	○	○	○2)	–	○5)	○	○	○	○	p. 32
露出補正			–	○	○	○	○2)	△	–	○	○	○	–	p. 51

		AUTO				SCN			P	(PowerShot A540のみ) Tv	Av	M	参照先
測光方式	評価測光	—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	●	●	●	●	p. 50
	中央部重点平均測光	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
	スポット測光	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
ホワイトバランス6)		—4)	○	○	○	—4)	△	○	○	○	○	○	p. 52
マイカラー		—	—	—	—	—4)	△	○7)	○	○	○	○	p. 54
ISO感度		—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	—4)	○	○	○	○	p. 61
縦横自動回転		○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	p. 63
グリッドライン		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	p. 24

○：設定可（●：初期設定）　△：最初の 1 画像のみ設定可（▲：初期設定）

・　　：電源を切っても解除されません。

・[日付 / 時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式］以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます（p. 28）。

1)動画の記録画素数とフレームレートについて（p. 41）

2) では、以下の設定はできません。

- ストロボの［オート]、[常時発光］
- 赤目緩和機能
- AF 補助光
- AF 枠の選択（AF 枠は中央 1 点に固定されます。）
- MF 拡大表示
- マクロ
- AF ロック
- マニュアルフォーカス

　では、以下の設定はできません。

- マクロ
- AF 枠の選択（AF 枠は中央 1 点に固定されます。）

（ワンポイントカラー）（スイッチカラー）では、以下の設定はできません。

- 連続撮影
- カスタムセルフタイマー
- 露出補正
- デジタルズーム

3)ストロボの初期設定は、 ＊：オート、 ：発光禁止になります。

4)カメラが自動的に設定します。

5)撮影中でも操作ができます（スタンダード時のみ）。

6)マイカラーが の場合は設定できません。

7) では、設定できません。

＊PowerShot A540 のみ